



創世会

山本裕三

来年度、国民健康保険では「保険者努力支援制度」が本格実施されるが当市の対応は

Q 平成30年度から、「医療費の適正化に向けた取り組み」を評価し、国からの交付金額が決定される「保険者努力支援制度」が本格実施される。自治体の健康施策の取り組み結果がダイレクトに財政運営に関わることを意味するが、制度の中で評価のポイントになっている「健康な方へのインセンティブ提供の実施」「糖尿病等の重症化予防」に関して、市の取り組みを伺う。

受診結果を活かす工夫や家庭訪問を実施して対応

A インセンティブの提供として、現在、特定健診結果表に、血糖値や腎機能の数値の見方のリーフレットを作成して同封したり、検査結果と血管の関係を、図にして説明したり、受診が必要な人には、「受診のおすすめ」を同封し、受診結果を連絡していただくなど、検査結

果を活かせるよう工夫しています。

また、糖尿病等の重症化予防として、特定健診結果と国保ヘルスアップ事業で実施している医療費分析で抽出した、重症化リスクが高い対象者に、保健師や栄養士が家庭訪問を実施し、訪問後の受診状況、検査結果で事業評価をしています。加えて、医師会専門医との糖尿病予防推進会議にて事業報告し、助言等をいただいています。

【他の質問事項】

・今後の国内外における自治体間交流について



イノシシ対策は早急な実施が必要



共に創る掛川

松浦昌巳

イノシシ対策を早急に

Q 平成28年度と29年度も600頭ものイノシシが捕獲されている。山の管理、捕獲、処分方法、ジビエ肉としての利用など検討、実施するための新たな組織づくりが必要ではないか伺う。

個体調整に取り組む組織体制の構築を検討

A イノシシの問題は、農業者だけでなく、一般市民にも不安に感じる方が増えていきます。

市でもあらゆる対応をしていますが、十分ではないため、改めてしっかりと組織体制の構築が必要と考えます。

未来の子どもたちのために温暖化防止対策を

Q 最近「環境」や「省エネ」の意識が低下してきたと思う。環境日本一を目指す掛川市は再生可能エネルギーの推進と温室効果ガスの削減についてどのように考えているのか伺う。

さらに、地球温暖化対策に力を入れて取り組む

A 環境日本一を目指し、これまでも省エネ・省資源の推進、再生可能エネルギーの普及などの地球温暖化対策に取り組んできましたが、気運の低下が見受けられるところもありますので、改めて目標に向けた取り組みを推進します。

